

堺市SDGs未来都市計画（2026～2030）（案）  
に対するこどもの意見の概要

- 堺市SDGs未来都市計画（2026～2030）（以下、本計画）は、世界共通の目標であるSDGs達成に向けた本市の取組の方向性を示す重要な計画であり、策定にあたっては、SDGsのゴールである2030年、また、その先の将来を担う世代の意見が重要であることから、こどもからの意見聴取を行った。
- 具体的な意見聴取の手法としては、本計画が堺市基本計画2030と方向性や計画期間、KPIなど可能な限り整合を図っていることから、堺市基本計画2030の検討過程で聴取したこどもの意見を参考とした。
- あわせて、パブリックコメント実施期間中に、さかいSDGsプラットフォーム会員である市立小学校の協力を得て、本計画案に対するこどもの意見聴取を行った。

<p>実施内容</p>	<p>市職員が学校に訪問し、ワークショップ形式で意見聴取を実施。 以下の設問について、こどもたちがグループごとに発表し、職員と意見交換を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堺の好きなところはどんなところか</li> <li>・堺の残念なところはどんなところか</li> <li>・2035年の未来の堺はどんな都市であってほしいか</li> </ul>
<p>実施時期</p>	<p>2024年3月～10月</p>
<p>実施校</p>	<p>市立深阪小学校（5年生） / 市立少林寺小学校（6年生） / 市立登美丘東小学校（6年生） / 市立日置荘中学校（2年生） / 市立津久野中学校（3年生） / 市立旭中学校（3年生） / 府立泉北高校（1・2年生） / 市立堺高校（3年生）</p>
<p>参加者数</p>	<p>651名</p>
<p>意見の概要</p>	<p>こどもたちが総じて望んでいると思われる<b>現在・未来の堺の姿</b>としては「<b>住みやすい</b>」都市であること。 「<b>歴史伝統</b>」や「<b>豊かな自然</b>」が守られていること。 「<b>防災・減災・危機事象</b>」「<b>環境・衛生</b>」「<b>インフラ・施設</b>」など<b>都市の基盤となる部分が良好</b>であること。 「<b>買い物</b>」「<b>娯楽</b>」「<b>観光</b>」などが充実し、「<b>楽しく・明るい</b>」都市であること。</p>

## ■ こどもたちの意見を踏まえた本計画案について

こどもの意見 (関心が高い分野)	こどもたちの関心が高い分野における本計画案の記載内容
歴史伝統 買い物・娯楽・観光	ゴール8「働きがいも経済成長も」 実現イメージ：堺の類いまれな歴史文化資源の魅力が高まり、広く認知され、多くの人が堺を訪れている 主な取組：茶の湯や地域の祭り、文化財等の歴史文化の保全・魅力発信、観光客の受け入れ環境の整備推進
豊かな自然	ゴール15「陸の豊かさを守ろう」 実現イメージ：南部丘陵の里山等の豊かな緑が守られ、都市部では緑化が進んでいる KPI：緑地保全・緑化推進に関する活動を行った団体数
防災・減災・危機事象	ゴール11「住み続けられるまちづくりを」 実現イメージ：「自助」「共助」「公助」が補完しあう災害対策が進み、強靱な都市構造が形成され、防災力が高まっている KPI：地区防災計画の策定率 等
環境・衛生	ゴール12「つくる責任 つかう責任」 実現イメージ：ごみの減量化や資源の効率的で循環的な有効利用が進んでいる KPI：1人1日当たり家庭系ごみ排出量
インフラ・施設	ゴール11「住み続けられるまちづくりを」 実現イメージ：東西交通等の交通ネットワークの強化や新たなモビリティ・サービス等の導入が進んでいる 主な取組：公共施設や都市インフラの計画的な更新・補修の推進

# 本計画案に対するこどもの意見

実施内容	<p>市職員がさかいSDGs推進プラットフォーム会員の市立小学校へ訪問し、ワークショップ形式で本計画案に対する意見聴取を実施。 以下の設問について、こどもたちがグループごとに発表し、職員と意見交換する授業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2030年、その先の堺市はどんな街になってほしいか</li><li>・2030年に向けて自分がかんばりたいSDGsのゴールとその内容</li><li>・2030年に向けて周りの人たち（市役所、大人、会社の人など）にかんばってもらいたいSDGsのゴールと内容</li></ul>
実施時期	2026年1月
実施校	・市立安井小学校（5年生）・市立榎小学校（5年生）
参加者数	171名
意見の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・こどもたちが<b>望んでいるSDGsのゴールとなる2030年、その先の堺の姿</b>は「<b>災害に強い安全な街</b>」、「<b>市内全体のごみが減ってきれいな街</b>」。</li><li>・自分でかんばりたいゴールとその内容は、ゴール12「つくる責任 つかう責任」で「<b>物をむだにせず、大切に使い続ける</b>」、「<b>残さず食べる</b>」など、ごみを減量化すること。</li><li>・周りの人にかんばってもらいたいゴールとその内容は、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」で「<b>地震が起きても大丈夫な街に</b>」、ゴール12「つくる責任 つかう責任」で「<b>リサイクルできるごみは適切に処理してほしい</b>」など、都市インフラの災害対策や自然環境の保全への期待がある。</li></ul>

## ■こどもたちの意見と本計画案の方向性

こどもたちの意見は概ね「**防災・減災・危機事象**」、「**環境・衛生**」に関するもので、以下のとおり本計画案の関連ゴールの実現イメージやKPI、主な取組にも同様の記載があることから、本計画案がこどもたちの**意見と合致**していることを確認。

## ■こどもたちの関心が高い分野における本計画案の記載内容

○ゴール11「住み続けられるまちづくりを」の実現イメージとKPI

(実現イメージ)

- ・「自助」「共助」「公助」が補完しあう災害対策が進み、強靱な都市構造が形成され、防災力が高まっている

(KPI)

- ・耐震性を確保した上下水道管路が接続する災害拠点数
- ・地区防災計画の策定率

○ゴール12「つくる責任 つかう責任」の実現イメージとKPI

(実現イメージ)

- ・ごみの減量化や資源の効率的で循環的な有効利用が進んでいる

(KPI)

- ・1人1日当たりの家庭系ごみ排出量